

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-04-13
事務事業名	社会福祉推進事業		
事業開始年度	昭和45年～		
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	高齢者福祉	職・氏名
			電話
			0869-64-1827

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	地域住民(閉じこもりがちな高齢者)
目的(何のために)	社会福祉協議会が行う社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の発展及び社会福祉に関する活動により、高齢者福祉等地域福祉の推進を図ることを支援する。
行政活動(どのような方法で)	備前市社会福祉協議会に対して補助金を交付する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	事業の設置数を増やすことで、閉じこもりがちな高齢者に対して、社会参加意欲の向上、生きがい発掘、相談及び寂しさ解消を図り、地域の輪や活性化に繋げていく。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	各種事業活動回数	回	565	499	445
	総合相談・心配ごと相談件数	件	268	236	176
	直接事業費	千円	37,216	33,046	32,102
	人件費	千円	2,375	1,670	419
	事業費計	千円	39,591	34,716	32,521
	国県支出金	千円	132		
	受益者負担	千円		248	446
	一般財源	千円	39,459	34,468	32,075
	必要人員	人	0.25	0.16	0.04
結果指標	各種事業活動回数	説明	支所を含め社会福祉協議会の年間活動回数		
	結果指標量	回	565	499	445
	対前年比	%	-	88.3%	89.2%
	活動コスト	円	39,591,000	34,716,000	32,521,000
	単位当たりコスト	円	70,073	69,571	73,081
	総合相談・心配ごと相談件数	説明	支所を含め社会福祉協議会主催の年間総合相談・心配ごと相談件数		
	結果指標量	件	268	236	176
	対前年比	%	-	88.1%	74.6%
	活動コスト	円	39,591,000	34,716,000	32,521,000
	単位当たりコスト	円	147,728	147,102	184,778

事業の成果			
成果指標名	憩いの場設置数	式又は説明	高齢者憩いの場事業の設置箇所数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	49	55	58
対前年比		112.24%	105.45%
到達目標値	60	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)		
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A-E> 課題認識 B	
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	社会福祉協議会への市からの事業委託や、ボランティア育成をはじめとする独自事業を実施することで、地域のニーズに添った事業展開ができ、地域福祉の推進にとって役割は増大している。	
	行政活動	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		効率性評価<A-E> 課題認識 C
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		社会福祉協議会の合併から2年半を経過し、事業内容の統一化、地域格差の是正を図っているところであるが、更に、効率的な事業展開が求められる。なお、人件費及び人員の減については、業務量の実数によるものである。
	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	手	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	職	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している			
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある			
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	平成11年度に旧備前市で事業を開始してから、年々設置数も増加しているが、設置数の少ない日生、吉永地域での新規設置促進を図ってきたい。		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	説明 社会福祉協議会が行う事業は、地域福祉の推進に欠かせないものであり、今後も地域福祉の推進母体として事業を継続していかなければならない。市からの補助金が削減されているため、効率的な事業実施が必要となる。
目標値	結果指標量	470	結果指標量	200
	成果指標量		成果指標量	60

総合評価		社会福祉協議会が行う事業は、地域福祉の推進に欠かせないものであり、今後も地域福祉の推進母体として事業を継続していかなければならない。合併してエリアも広くなり、手法も違っているが、地域間格差を是正しながら効率的な事業展開を目指していく必要がある。	評価区分 <A-E> B	
------	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------	--

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
--------------	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	事業の効率化	平成21年度	コスト削減、事業の効率アップ